

# 鹿児島県に個人表彰要望

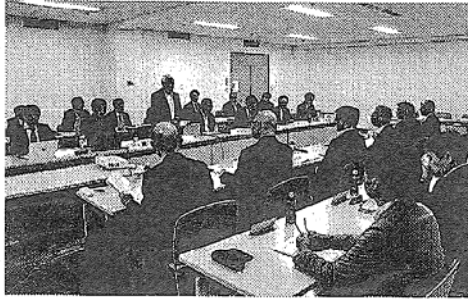
建コン協九州と県・政令市の意見交換スタート

## 総合評価方式の対象業務拡大も

九州

九州支社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10番20号（KCC天神ビル東）  
電話092・741・4605 FAX092・741・1732  
kyusyu@decn.co.jp



建設コンサルタンツ協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は10月31日、鹿児島県との意見交換会を鹿児島市内で行い、写真、2024年度の九州・沖縄地区の県・政令市との意見交換会をスタートした。年末にかけて担い手の確保・育成や技術力による選定の拡大などについて意見を交わす。鹿児島県との意見交換では、建コン協は個人表彰制度の導入や総合評価方式の対象業務拡大を要望。県は前向きに検討すると応じた。

意見交換では各県部会の会員からの意見や要望を踏まえ、県・政令市ごとの個別提案を中心に、継続的な要望・提案である共通テーマについても意見交換する。共通テーマはこれまでの▽担い手の確保・育成のための環境整備▽技術力による選定▽品質の確保・向上▽DX推進の環境整備に、「災害対応に向けた環境改善」を新たに加えた。意見交換は冒頭を除き非公開で行われた。建コン協によると、鹿児島県への個別提案で建コン協は、県がウイークリスタンスの実施などを規定した「環境改善実施要項」について、特記仕様書に明記するとしているものの、会員企業が受注した業務での記載率は24年度で44・4%だったと指摘。記載率100%に向けて出先事務所などへの周知徹底を求めた。県は今後も周知徹底に努めるとし、記載がない場合は受注者側からの相談に適宜

応じると回答した。

表彰制度について、建コン協は表彰件数の拡大や工事同様に技術者個人の表彰制度の導入などを要望。県は表彰が総合評価方式での加点につながっている現状から件数増は難しいとしたものの、個人の表彰制度の導入については前向きな姿勢を示した。

共通項目では、建コン協は道路詳細設計のみとなっている総合評価方式の対象業務拡大を要望。県は前向きに検討すると応じた。設計条件明示チェックシートの活用で建コン協は県が23年度に「条件明示チェックシート活用ガイドライン」を作成、活用している取り組みを評価し、さらなる活用を求めた。意見交換会のスタートにあたり、田中支部長は「総合

合評価方式の導入など技術力による選定の拡大と、品質の確保・向上のキーポイントとなる設計条件明示チェックシートの活用は全ての県・政令市で要望している」と述べている。